

【オンライン講演会】

## 2020年度 卒論・修論報告会(その2)

日時：2021年3月4日(木)午後7時～9時00分

オンライン(zoom)での講演会となります。

以下のURLか右のQRコードにアクセスしてください。

<https://zoom.us/j/97216429445>

※休館中のため小笠原ビジターセンターでは開催されません



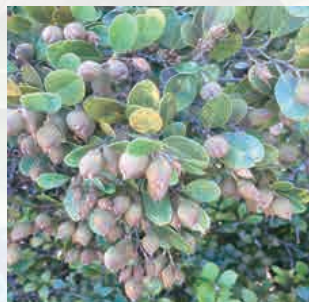
### 【講演1】木にとっての厳しく乾いた夏と雨の多い夏との違い

皆木寛司(京都大学 生態学研究センター 修士2年)

近年、小笠原では極端に乾いた夏が発生しています。乾性低木林の樹木の間で、湿った夏と乾いた夏で、樹木のからだの中でどのようなことが起きているかを紹介します。



枝内部の水の通りやすさを測っているところ ▲



### 【講演2】温暖化による異常気象で弱っていく木

中村友美(京都大学 生態学研究センター 修士2年)

温暖化によって大型台風や干ばつなどの異常気象が頻発しています。異常気象と木の種子生産が同時に起った時、木にどのような影響を与えるのか、シマイスノキを例に紹介します。

▲ 台風や干ばつ前に、大量に実をつけていたシマイスノキ

### 【講演3】小笠原諸島固有の寄生植物シマウツボの生態と進化

西村明洋(京都大学 理学研究科 修士2年)

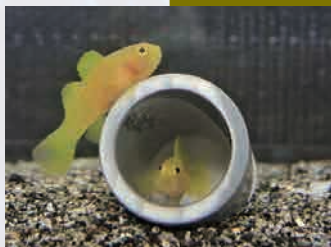
シマウツボは他の植物に寄生する植物です。姿を現す季節が限られ、いまだにその生態は謎に包まれています。そんなシマウツボが寄生する植物の種類、送粉者、そして進化について紹介します。



シマウツボと寄生された木本植物の根 ▲

### 【講演4】孤立した環境に適応した海水魚ミジンベニハゼの繁殖生態

尾山匠(東京海洋大学 海洋科学技術研究科 修士2年)



海底にポツンとある貝殻やビンなどに生息するミジンベニハゼを調べてみると、オスでもありメスでもある特殊な性様式を示すことが明らかになりました。

▲ ミジンベニハゼ

<主催>東京都立大学小笠原研究委員会

<共催・協力・後援> BIO, (公財)東京都公園協会, 小笠原村

<問い合わせ> 小笠原ビジターセンター ☎ 04998-2-3001